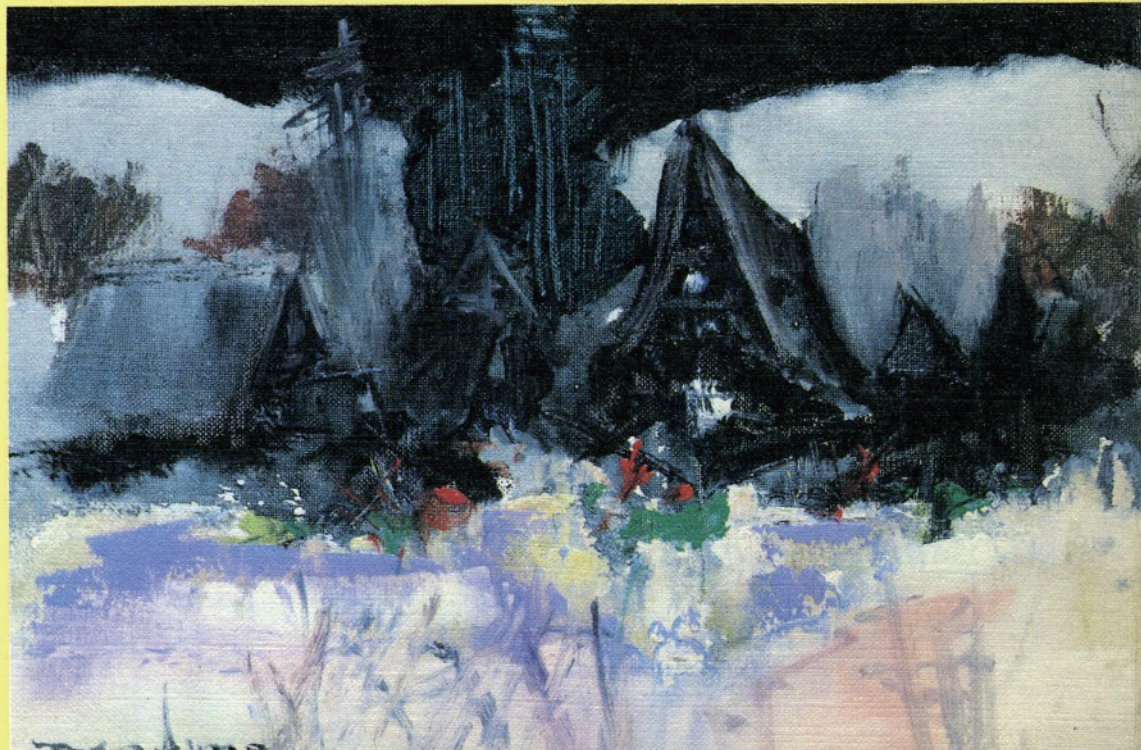


まぼろしの詩 あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1977年版

詩人の詩と詩人の詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1977年版

序

藤 浦 洸

新しく「きょうの詩 あしたの詩」が出版されることになりました。みなさんの協力を感謝します。

いま、ここに一冊にまとまった作品集を読みますと、会員諸君の精進の跡が迫力を以って、迫って来ます。

みなさんが、何か新しいものを掴みとり、それを詩及び歌謡詩に表現しようとした努力の様が眼にみえます。

後はよきチャンスに恵まれますように祈ってやみません。すべて芸術の仕事は今日始まるというものでもなく、また今日終るといいうものでもありません。月日の限りつづくものです。

どうぞ、いつまでもこの歩みをつづけて下さい。

(日本作詩家協会会長)

もくじ

序	藤浦 洸	一
あこがれの人	あかはた 元康	六
一人ぼっちです	相田 八郎	一九
恋 砂 漠	愛川 あい	二〇
なみだ酒	青木 三郎	三
恋が燃えちゃった	秋田 泰治	三
吹雪の朝にのった記事	秋田 三枝	三
何んて NONSENSE!	朱館 暮美	二四
処女のれん	明烏 秀太郎	二五
女の素顔	浅野 國雄	二六
居酒屋の女	浅野 哲秋	二七
恋の出番	芦田 しげる	二八
はまなす挽歌	飛鳥井 芳朗	二九
美 花	綾部 孝男	三〇
地球の裏側のあなたへ	鮎川 公正	三
天城雨情	荒川 利夫	三
きずあと	荒木 忠雄	三
北国の美少女	淡島 千佳夫	三
夕焼けのシャンソン	いけや かつとし	三

浅草千束町……………	宇山	清太郎……………	六
雪割草……………	植田	竹雄……………	六
函館本線……………	白井	ひさし……………	六
陽子のためにうたう歌……………	詩川	しぐれ……………	六
女郎花……………	宴	ゆり……………	六
ハマのたづね人……………	江島	景子……………	六
おんな・悲恋……………	海老沢	孝一……………	六
女の海峡……………	遠藤	英一……………	六
女の鳥かご……………	おいだ	みのと……………	六
つめたい春……………	おち	としこ……………	六
花の色……………	小川	淳……………	六
流れ花……………	小川内	のりを……………	六
パントリジャン……………	小黒	恵子……………	七
昭和無情……………	大澤	昭男……………	七
女の駅……………	大竹	ゆきを……………	七
訣れのシーズン……………	大野	卓……………	七
赤いのれん……………	大橋	哲郎……………	七
この未練……………	大森	富士子……………	七
ナイトクラブの再会……………	大屋	哲夫……………	七
思い出よりも……………	大渡	弘良……………	七
風花の夜……………	逢坂	豊……………	七
花模様……………	岡野	極……………	八
京慕情……………	岡本	和子……………	八

手のひら……………	沖永良一……………	三
南国なみだの旅路……………	萩原秀夫……………	三
酒のうた……………	帯谷瑛之介……………	四
ガード下……………	折戸勝史……………	五
涙を拾って下さい……………	かわうち登……………	六
夜のネオン蝶……………	かわかみよしのぶ……………	七
恋の死神が笑ってる……………	甲斐新……………	八
雨上りの京都……………	加藤完二……………	九
背中合せがさようなら……………	加藤省吾……………	九
恋人の肩は濡らさないで……………	風見嚶子……………	一〇
貴女の窓……………	角海夜詩次……………	一〇
恋 供 養……………	門井八郎……………	一〇
後 追 い 旅……………	兼崎康美……………	一〇
別れの始発駅……………	鎌田まさる……………	一〇
こわされた愛……………	神山清志……………	一〇
笑って見ませんか……………	川合秀夫……………	一〇
粉雪の駅……………	河井哲治……………	一〇
花に書いた恋文……………	木下龍太郎……………	一〇
浮草の花……………	木立雄幸……………	一〇
だから旅へ……………	木谷鴻治……………	一〇
風に舞う花びらのように……………	菊地英夫……………	一〇
里がえり……………	北光夫……………	一〇
愛が逃げた君は追いかけるか……………	北村英明……………	一〇

なんの花か匂う……………	北村	三色……………	〇五
東京にも星が見える夜がある……………	くるみ	広彰……………	〇六
心配はごむよう……………	九条	高嶺……………	〇七
初雪……………	工藤	りつお……………	〇八
さようなら連絡船……………	黒白	ミノル……………	〇九
貝がらと野あざみ……………	剣	あざみ……………	二〇
忘却の女……………	こばやし	克至……………	二二
恋の絵姿……………	小池	虎夫……………	二三
雨の嵯峨野路……………	小島	高志……………	二三
はぐれ瞽女……………	小高	勝義……………	二四
紙の翼に夢のせて……………	小谷	健一……………	二五
会津さ来いよ……………	小林	金次郎……………	二六
鎌倉にひとり……………	小林	澄子……………	二七
白樺の女……………	古神子	民雄……………	二八
流 行 歌……………	古頃	正章……………	二九
私のふるさと六本木……………	五嶋	七郎……………	三〇
渚の少女……………	児島	漠……………	三一
不良少女ステラ……………	越砂	温夫……………	三三
さすらい日記……………	越野	みのる……………	三三
川辺ブルース……………	紺野	ただし……………	三四
ふるさとは津軽……………	サトウ	幸史……………	三五
ほんとうの愛……………	さきやま	みちお……………	三六
ごめんね……………	さとう・いくこ……………		三七

水色の封筒	さとう	ひでを	二六
むかしばなし	佐久間	常夫	二九
ロックンロールの溜り場	佐東	たどる	三〇
そんな女がいればいい	佐藤	進	三三
ふるさとの女	佐藤	木章	三三
ゆうべ浜辺にひとり来て	佐藤	正美	三三
薄　　化　　粧	佐野	和子	三四
愛は自由	斎藤	ちえ	三五
母　　の　　声	斎藤	宗三	三六
意地っぱり	阪口	ふみし	三七
逢える日まで	酒井	国雄	三八
残り雨の中で	榊原	康司	三九
愛のシナリオ	三丁目	高詩	四〇
愛するよりも愛されたいの	しのだ	さだよし	四一
道子の二年間	四賀	郷子	四二
棄てられぐせが直らない	志摩	勝也	四三
ルピナスの花が咲いたら	紫藤	孝	四四
有線ブルース	柴田	よしかず	四五
七　十　五　日	波澤	登磨	四六
清水坂から五条坂	島田	和	四七
寒　　桜	島田	磐也	四八
恋　　枕	島田	信義	四九
紅葉あかり	島本	富美子	五〇

海岸沿いのコーヒー館	舟	陽子	一五
雨の慕情	周東	敬二	一五
女の慕情	白坂	あきお	一五
貝と人魚の物語	白土	やすじ	一五
意味ある別れ歌	新條	カオル	一五
卒業	新保	治平	一五
私が愛した貴男です	すぎ	こういち	一五
ふる里の母への返信	すが	しちろ	一五
病室の窓から	須田	ひろし	一五
茜雲	眇田	栄一	一六
お嫁さんにして下さい	鈴木	昭一	一六
おんな酒、涙酒、夜の酒	鈴木	哲朗	一六
いたわり	鈴木	宗敏	一六
砂の女	砂見	爽	一六
花はくれない	相馬	詩彦	一六
演歌 日本	相馬	日照	一六
わたし夢見ているのかも	たかぎ	かずお	一七
冬の音	たなか	ゆきを	一六
なげき花	田中	凡オ	一六
北の旅路	田畑	しげき	一七
津和野	田村	和男	一七
許されざる愛	田村	忠雄	一七
女の生命	田村	みどり	一七

流水の宿	高上	あゆむ	一七四
幻想画	高瀬	臣子	一七五
北の花言葉	高橋	直人	一七六
誰が魚を追いやった	高畑	和之	一七七
恋のレッスン・ワン	鷹野	学	一七八
お父はおいらのもの	谷川	まさる	一七九
ねんねの石仏さま	谷田	草路	一八〇
ソーラン波止場	玉木	一史	一八一
朝の盛り場通り	滝	わたる	一八二
スコトン岬の赤い花	竹田	勇人	一八三
あやまち	竹本	準	一八四
信濃路	千葉	幸雄	一八五
波止場町ブルース	津田	けんじ	一八六
哀愁の原宿	塚谷	清一	一八七
わたしはねむれない	土屋	正敬	一八八
恋人たちの浜辺	土佐	友和	一八九
かなしいくせ	都城	光	一九〇
愛ふたたび	鳥羽	貞子	一九一
はぐれ節	富田	清吾	一九二
くされ縁	富山	紫峰	一九三
女のノクターン	豊沢	正義	一九四
恋の交差点	中川	連	一九五
傷ついた純情	中島	清一	一九六

なんでいまさら……………	中野	惣太郎……………	二七
もういい加減にしないかい……………	中野	芙美世……………	二八
涙をあげる……………	中山	二夫……………	二九
雪山無情……………	成瀬	左千夫……………	三〇
恋は真実……………	難波	淑……………	三一
夢見る星……………	楠里	暁生……………	三二
あなたの存在……………	ニシムラ	トミコ……………	三三
紙のピアノ……………	仁智恵	大造……………	三四
あきらめ……………	仁礼	美智雄……………	三五
忘れ草……………	西沢	爽……………	三六
あの星と語ろう……………	能勢	英男……………	三七
割れたグラス……………	野々山	光……………	三八
お夕 てるてん歌……………	はせべ	ゆり……………	三九
古びた一円硬貨……………	はせやま	清美……………	四〇
奇襲桶挟間……………	長谷川	洋……………	四一
背 信……………	橋本	守正……………	四二
水割りグラス抱いて……………	花村	かおる……………	四三
おとこの唄……………	英	玲二……………	四四
盛り場五年半……………	浜	実……………	四五
山中鹿之介……………	林	秀夫……………	四六
ほおずき舟……………	原	牧江……………	四七
東京囃子……………	原	良夫……………	四八
トンガ幻想曲……………	伴在	主計……………	四九

愛も傷つく一言で……………	平井	健一……………	三〇
恋愛あの世唄……………	平川	正義……………	三二
母さんのふるさと……………	平山	忠夫……………	三三
愛してしまったの……………	広里	多美……………	三三
雨の女……………	ふじと	たかし……………	三四
お前ひとりの体じゃないよ……………	富士見	琴流……………	三五
まよひ……………	傳	祖恭……………	三六
嬉野ブルース……………	藤原	逸露……………	三七
望郷……………	藤村	正……………	三八
広場があったら……………	藤本	良公……………	三九
さよならのないさよなら……………	藤森	宮子……………	四〇
昭和ナンセンス節……………	古川	咲二……………	四二
アクロポリスの慕情……………	鳳司	哲夫……………	四三
肥後の駒下駄……………	星野	哲郎……………	四三
プレータウンの恋……………	細川	憲哉……………	四四
いいじゃない……………	細川	雄太郎……………	四五
愛のブランコ……………	本間	繁義……………	四六
海……………	本間	長三郎……………	四七
東京アスタ・マニャーナ……………	真弓田	幸一……………	四八
青春鉄道の旅……………	前島	達夫……………	四九
君は遠い人……………	前田	繁子……………	五〇
沖の小島のいとしい娘よ……………	前田	利茂……………	五一
俺とあいっ……………	牧	房雄……………	五二

奥州路	増子	善典	二四三
花燃え	松井	由利夫	二四四
あんたのものや	松浦	志津夫	二四四
花あかりの里	松尾	ゆきをを	二四六
夫婦有禅	松岡	美勝	二四七
ちいさいきみ ちいさいぼく	松川	春恵	二四八
風の告白	松崎	暎子	二四九
復讐のなみだ唄	松本	摂子	二五〇
赤いセーター	松山	幸二	二五一
男節	三井	徳好	二五二
太陽の眠る部屋	三上	博司	二五三
未練しぐれ	三島	迪之助	二五四
ためらい	三谷	愛	二五五
月の停車場	三益	武司	二五五
山里哀歌	三宅	立美	二五七
春の湖	水上	幸子	二五八
坂の上の家	水紀	亜美	二五九
新婚いろは	水野	甚太郎	二六〇
殺された蚤のブルース	水野	徳好	二六一
三つのプレゼント	南	早苗	二六二
白い真昼	南	由紀	二六三
流れる雲よ	峰	よしを	二六四
さむらいたち	宮沢	章二	二六五

さらば青春……………	宮田	隆……………	二六八
聞きたいけれど聞けなくて……………	宮中	雲子……………	二六七
福山慕情……………	むらやま	たけし……………	二六八
草笛……………	村上	文恵……………	二六九
怨歌……………	村上	みのる……………	二七〇
あやまち……………	村田	安広……………	二七一
あなたの赤ちゃんうみたいわ……………	村山	映子……………	二七二
涙ぐせ……………	室屋	安美……………	二七三
高瀬川慕情……………	室山	多香史……………	二七四
おんなの願い……………	持田	三郎……………	二七五
これでよかったのかしら……………	百瀬	淑子……………	二七六
北の果て……………	森	きよみ……………	二七七
ひとりつきり……………	森	けい子……………	二七八
金閣寺……………	やまだ	りゅう……………	二七九
泣き虫さん乾杯……………	矢ヶ部	信次……………	二八〇
北海岸……………	柳	英二……………	二八一
恋の搜索願い……………	柳	道子……………	二八二
潮の岬の渡り鳥……………	山上	雅人……………	二八三
港のマリー……………	山上	路夫……………	二八四
夷隅川ブルース……………	山口	純……………	二八五
波止場亭……………	山口	洋子……………	二八六
俺……………	山田	晃義……………	二八七
雨のミラージュ……………	山本	志げみ……………	二八八

倉庫街の秋……………	山本	哲生……………	二六
倅せな人にはきかせたくない……………	大和	詩織……………	二九〇
再会 喫茶……………	雄城	真琴……………	二九一
すっからかんでもいいじゃないか……………	夢	虹二……………	二九三
夢 殿……………	吉永	純司……………	二九三
本枯らしの部屋……………	六条	宙……………	二九四
ボクはチビッコカメラマン……………	わたべ	まちこ……………	二九五
もう秋なんですネ……………	若山	かほる……………	二九六
男四十どんとやれ……………	渡辺	治……………	二九七
若 い 日……………	渡辺	和於……………	二九八
ひとり旅……………	渡辺	千楨……………	二九九
別れの水割……………	渡辺	久士……………	三〇〇
あとがき……………	井田	誠一……………	三〇一

題字 西沢 爽
 表紙 荒船利雄